



英語教育

について調べる



★ 関連授業科目

英語科教育法

文学部

第1・2セメスター

「Paste (ぱすて)」とは？

ぱっと分かって、すっと頭に入る、テーマ別調べ方ガイドです。みなさんの学習をサポートする、総合図書館ティーチング・アシスタント (TA) による作成です。レポート作成の際などにお役立てください

1. イントロダクション

1-1. 「英語教育」とは？

英語の教授や学習について学問的に研究する分野

1-2. 学習するにあたってのポイント

英語を教える際、自分が習ってきたやり方、自分が学習してきたやり方に大きく影響を受けます。しかし、自分が習ってきた英語の授業の教え方は良い方法だったのでしょうか。また、自分が英語を勉強した時に上手くいった学習法は他の人にも効果的なのでしょうか。このような視点を持ちながら、勉強してみると面白いと思います。

1-3. 一般向けに書かれた資料・読み物

■ [日本の英語教育/山田雄一](#) 【書誌 ID= 2003641274】

総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 089/IS/R943

2. 学習用資料

2-1. 手元にあると便利な事典・ハンドブック 類

■ [英語教育用語辞典/白畑他](#) 【書誌 ID= 2004111718】

総合図-書庫 2 階 参考図書 830.7/SHI

専門用語が幅広く網羅されており、それぞれの語に簡単な説明があります。勉強している際に、聞いたことのない専門用語があれば探してみてください。

■ [The practice of English language teaching/Jeremy Harmer](#) 【書誌 ID=2004222363】

総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 830.7/SHI

教師教育で有名な Jeremy Harmer の本です。基本的なところが幅広く網羅されているため、特に初学者では通して読むのは大変ですので、興味関心があるチャプターから先に読むか、参考図書的に用いる方が良いかもしれません。

2-2. 最初に読むべき資料：教科書・古典

■ [新学習指導要領にもとづく英語科教育法/望月昭彦\(編\)](#) 【書誌 ID=2003425100】

言英語 375.893/MOC

英語科教育法を受講する学生向けに書かれた本です。基礎的な部分を幅広くカバーしています。一つ一つのチャプターが短いのでとっつきやすいと思います。

■ [\(英語\)授業改革論/田尻悟郎](#) 【書誌 ID=2004315549】

総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 375.893/TAJ

優れた実践者として有名な田尻悟郎氏による本です。実践寄りの本なので、教職を目指している方は読んでおくといいいと思います。

2-3. 最新情報が確認できる資料：主要雑誌・年鑑・Web ページ

■ [ELT Journal](#) 【電子ジャーナル ISSN= 09510893】

理論と実践と結びつけている研究が多く収録されています。

■ [Language Teaching Research](#) 【電子ジャーナル ISSN=1362-1688】

ELT Journal よりは少しだけ理論寄りの研究が収録されています。

2-4. その他専門書・学術論文等で注目すべきもの

■ [英語教師のための第二言語習得論](#) 【書誌 ID= 2004222363】

総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 830.7/SHI

第二言語習得論は第二言語を習得するプロセスを研究する分野です。外国語を教える立場になるなら、医者が人間の体について勉強するように、語学教師も人がどのように外国語を習得するのかについての知識が必要です。この本では、第二言語習得研究の知見を踏まえて、それを基に日本の英語教育の問題点を指摘しています。

■ [英語テスト作成の達人マニュアル](#) 【書誌 ID= 2003961791】

総合図-A 棟 2 階 特設コーナー 375.893/SHI

語学教師にとってテスト作成は必須です。しかし、現在の教員養成カリキュラムの中に言語テストについての科目は必修になっていないので、今まで自分が受けてきたテストの経験から何となくテストを作成することになります。この本では、言語テストの理論に少しだけ触れながら、日本の教育現場でどのようにテストを改善すべきかについて具体例を用いて主張しています。

■ [Approaches and methods in language teaching/Jack C. Richards and Theodore S. Rodgers](#) 【書誌 ID=2003472738】

総合図-A 棟 3/4 階 学習用図書 807/RIC

現在に至るまでどのような教え方、つまり教授法が学習者の英語学習に効果があるのかが多く提案されてきました。この本では、いくつかの有名な教授法を理論的背景と具体的な指導法を用いて、わかりやすく説明しています。英語の文献ですが、平易な英語で書かれているので、初学者でも読めるといいます。

3. レポート・論文執筆用資料

3-1. 有用な検索キーワード

- ◆ 主要キーワード: 英語教育 (English education)、
- ◆ 関連キーワード: 言語教授 (language teaching)、言語学習 (language learning)
- ◆ 補助キーワード: 第二言語習得 (Second language acquisition)、言語テスト (Language Testing)、言語教授法 (Language teaching methods)

3-2. 二次資料類: 検索サイト・書誌索引

■ [大阪大学 Discovery Service](#)

阪大で論文や電子書籍を利用したいときに、これを使えば阪大で利用できるリソースをまとめて検索してくれます。

■ [Webcat Plus \(http://webcatplus.nii.ac.jp/\)](http://webcatplus.nii.ac.jp/)

阪大で検索が引っかけからなければ、これを使って日本の大学図書館等が所蔵している資料を連想検索で検索することができます。

■ [CiNii Articles \(http://ci.nii.ac.jp/\)](http://ci.nii.ac.jp/)

日本の学会誌・紀要等に発表された論文を検索することができます。(ただし、英語教育の分野の主要な文献のほとんどが英語で書かれていますので、日本語の文献を読む機会は少ないです。)

■ [Google scholar \(http://scholar.google.co.jp/\)](http://scholar.google.co.jp/)

分野や発行元を問わず、学術出版社、専門学会、プレプリント管理機関、大学、およびその他の学術団体の学術専門誌、論文、書籍、要約、記事を検索できます。

本文中で紹介している図書・雑誌について

図書名・雑誌名の後ろに「書誌 ID」(10桁の数字)の記載があるものは大阪大学で所蔵しています。この10桁の数字で大阪大学 OPAC(蔵書検索システム)が検索できます。

